浦臼のチカラ

第3号

※「浦臼のチカラ」は地域の介護進カで活躍する方々を紹介し、交流や住民参加のきっかけ作りを目指します。



○今野　信行（こんの　のぶゆき）さん　○１９５６年生まれ
○浦臼町出身

浦臼町で小・中学校時代を過ごし、新十津川町の農業高校を卒業後、新十津川町の農協に就職。１９年間勤務した後に浦臼町に戻り、浦臼清掃有限会社に現在まで勤務。

浦臼町交通安全協会の会長を務めるほか、町の消防団や防犯協会、自衛官募集相談員などに所属し、幅広い分野で地域に貢献。また、浦臼町剣道連盟の指導者として子どもたちの育成に携わるとともに、中空知剣道連盟連合会の副会長も務めている。

長年にわたり、交通安全や防犯活動、剣道の指導などを通じて、地域の安全と安心を支えている。

剣道を始めた時期、現在の指導について

小学校3年生の時に剣道を始めて中学校、高校と続けてまいりました。就職後も剣道連盟に所属し、長年にわたって剣道に携わってきました。現在は、小学生と中学生合わせて19名の子どもたちに剣道を指導しています。練習は週2回、1回につき1時間半行っており、大会の約1ヵ月前からは週3回に増やしています。限られた練習時間の中で、子どもたちに少しでも多くのことを伝えられるよう、日々工夫しながら指導しています。特に低学年の子どもたちには、練習がつらい、つまらないと感じさせないよう、ちょっとしたゲームを取り入れるなど、楽しみながら剣道を学べるような練習内容を心がけています。

剣道を通じて子ども達に身につけてほしいことは?

剣道は武道ですので、まず第一に礼儀です。「おはようございます」「ありがとうございました」といった挨拶をしっかりできるようになり、相手を敬う気持ちを身につけ、大切にしてほしいと思っています。また、稽古を通じて体力をつけるとともに、大会や試合にも積極的に参加し、さまざまな経験を重ねてほしいです。試合で緊張したり、萎縮したりすることもあると思いますが、経験を積むことで自信をつけ、どんな場面でも自分の力を発揮できるようになってほしいと思います。

指導者をしていて良かったことは?

剣道の指導者をしていて良かったと感じるのは、昔教えていた子どもたちが卒業や就職をした後も、自分と会ったときに挨拶をしてくれることです。剣道を通じて関わった子どもたちが成長した姿を見られるのは、とても嬉しいです。

また、一生懸命に稽古に取り組んでいた子が、大会や試合で勝つことができたときも、大きな喜びを感じます。子どもたちの頑張りを間近で見守れるのも、指導者としての大きなやりがいの一つです。



【稽古の様子】

浦臼町について感じていることは?

自分が小さかった頃は、町の中だけでも十分に楽しく過ごすことができました。現在は人口減少や高齢化が進み、以前に比べて町のにぎわいも少なくなってきています。ですので、えみるなどで多くの人が集まり、交流できるイベントが開催されていることはとても良いことだと感じています。

一方で、そうしたイベントに行くための交通手段が少ないことは残念に思います。地域交通の問題は、改善が必要だと分かっていても、実際に解決するのは簡単ではありません。それでも、誰もが気軽に外出し、地域のイベントや交流の場に参加できるような環境づくりが必要だと感じています。

冬の交通安全に向けて一言お願いします

国道275号は交通量が多く、冬は雪や路面の凍結によって車がスリップしやすくなります。また、雪で視界が悪くなると歩行者に気づくのが遅れることもあります。運転する際は周囲の状況をよく確認し、十分に注意しましょう。歩行者も、車がすぐに止まれないことを意識し、道路を横断する際や歩道を歩く際には、周囲の安全をしっかり確認することが大切です。町民一人ひとりが交通安全を心がけ、浦臼町の死亡事故ゼロの日を継続していきましょう。

地域おこし協力隊活動報告

【地域おこし協力隊任期満了のご報告、御礼とお願い】



町民の皆様こんにちは、元浦臼町地域おこし協力隊の稲野です。
令和８年１０月末日をもって浦臼町地域おこし協力隊の任期が満了し、１１月より一浦臼町民としての生活が始まっていることのご報告と共に３年間の活動を振り返らせていただきます。

３年前の１１月に協力隊として着任し、１年目は撮影や取材を通して浦臼を知る傍ら、多世代交流施設えみる最初の集客イベントとして「ありがとう札沼線フェスタ」を企画・開催しました。
夏場には商工観光係の一員として、味覚まつりをはじめとした町内イベントや町外出展などに関わり、浦臼町にある地域産品や事業者さんのことをより知る機会を得る中で、着任当初に思い描いていた観光＋宿泊というパッケージから軌道修正し、浦臼町の魅力でもある食＋宿泊のパッケージが自身の目指すところとなりました。



そこで２年目からは浦臼町の特産品でもある「ぼたんそば」粉を使用したシフォンケーキの商品開発に着手すると同時に、ガレットを提供するキッチンカーを運営するべく動き始めました。
８月にはなんとか間に合わせて味覚まつりでキッチンカーデビューを果たし、主に週末を中心にガレットを通じて町内や近隣市町で浦臼町のＰＲ・ぼたんそば振興に努めてきました。
また、周辺地域の協力隊関係者と連携してお酒イベントを企画・開催、その他２年連続の札沼線イベントや冬のスタンプラリー企画、１２月には町内向けのゲームイベントなど様々な催しも行ってきました。

３年目は引き続きキッチンカーで営業活動を行いながら、より賞味期限が長く土産品として適したそば粉スイーツとしてベルギーワッフルの開発を行い、キッチンカーでの販売を開始しました。
お土産品としては当初予定より遅れていますが、専門家の支援も得ながらブラッシュアップを進めており、近いうちに土産品・ふるさと納税返礼品として提供できるよう今後も精進してまいります。

その他、協力隊関連広域の団体として空知地域おこし協力隊ネットワーク副代表、（一社）北海道地域おこし協力隊ネットワーク社員として自治体の垣根を越えた協力隊の連携やサポートに携わっており、引き続き協力隊制度には関わっていく予定となっています。

こうして３年間を振り返って様々な活動を行ってきましたが、これが実現できたのもひとえに関わってくださった町民の皆様、浦臼町役場の皆様、協力隊関係者の方々に支えられてきたからに他なりません。
協力隊としての活動のみならず、定住に向けた住居関連、飲食事業関連など様々な分野で本当にたくさんの方に支えていただきました。
ここに深く御礼申し上げます、本当にありがとうございます。
３年間の協力隊活動を通じて、少しでも浦臼町の産業振興、浦臼町内を盛り上げる一助となれていたのであれば幸いです。

これからに目を向けると、事業者として安定的に活動・生活ができています、と言えるようになるまではまだまだ時間を要する見込みです。

今後は一飲食事業者として安定的な収益をあげられるよう懸命に営業活動を行ってまいります。
つきましては、キッチンカー出店を見かけることがありましたら、応援していただければ幸いです。
これからもひとりの浦臼町民として今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
最後に、私が事業展開しているそばスイーツ＆ガレット Peony のSNSアカウントの二次元コードを掲載させていただきますので、Instagram、Facebookページのフォローをぜひよろしくお願いいたします。

【Instagram：@peony.soba】

【Facebook】